

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人の利用者の方を指導員全員でサポートしていること	利用者の方の状況を細かい点まで共有するようにしている	保護者の方の満足度を高めるために、支援後のフィードバックはもちろん、担当者会議や家族支援を積極的に行っている
2	多様な専門性を持つ職員が揃っていること	職員がそれぞれの専門性を活かせるよう、一人ひとり利用者の方についてそれぞれの視点から意見を述べ合っている	他事業所と積極的に交流することで、知識やスキルの向上を図っている
3	保護者の方の相談や要望に可能な限りお応えしていること	自身にない知識や専門性を、他の職員から教わるようにしている	相談支援員の方とも職員全員が関わり、利用者の方についての悩み事などについても共有している

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援・放課後等デイサービスの経験年数が浅い職員が多い。 入職して日が浅い職員が多い。	望まない退職者を出さないようにする	日々の支援以外にも、小集団やイベントなどを定期的に行い、職員の経験や知識を増やしていけるようにする
2	パーティションで支援室を区切っているため、完全な個室の確保が難しいこと	テナント型の事業所の為、パーティションで支援室を区切る以外の方法がない	今ある設備を利用者に応じて適切に配置し、周囲にも配慮しながらプログラムを組んで支援を行っていく
3	利用者の方の年齢が高く、夕方の時間帯が混みあい、入れ替えをスムーズに行うことが難しいこと	児童発達支援の利用者の方が少なく、平日の午前中や早い時間に行える支援が少ない	他事業所や保育施設などにチラシを配布し、積極的に声をかけていく 相談支援員や利用者の方の兄弟などを介して、児発率向上を目指していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 4

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	0	・個室のような空間と体を動かせる広めの空間に分けてあり、それぞれが集中出来る環境だと思う。	活動に合わせてスペースを変え環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0		基準人員を満たして支援を行っています。専門性を持った職員も多く配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	1	・その日に取り組む予定の物がすでに置いてあり、分かりやすいと思う。	室内はバリアフリーになっており、視覚的に分かりやすいような掲示を心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	0	0	1	・本人は汗などかいていませんでしたが、夏場は少し部屋が暑いのではと感じることがあった。	毎日清掃や消毒を行っています。室温・湿度にも気を配っていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		完全な担当制ではなく、お子さんの状況に合わせて支援する指導員が変わることがあります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	1		内容を確認し、全職員で話し合いを行いながら支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0	・面談で出た内容をもとに作成していただいていると思う。	お子さまの成長に合わせて計画を見直し、ご要望もうかがいながら作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	1		保護者様へのアセスメントや支援の様子を踏まえ、支援目標を設定しています。全職員で内容を考え、共有しながら支援させていただいています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		個別支援計画に則り、お子様の状況を踏まえ、毎回プログラムを立てて支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	0	・季節に合った活動もできていると感じる。	支援内容については、児童発達支援管理責任者と指導員で相談しながら決めています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	1	1		無料イベントで交流を図らせていただきました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		契約の際にお伝えさせていただいています。何かございましたら、いつでもご質問いただければと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0	・定期面談・モニタリングの際に前回からの変更などについても話があった。	お子様の今の姿とあるべき姿を保護者様や相談支援員の方と相談しながらより良い計画を作成しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	0	2		今後計画していきたいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		今後も、保護者様との情報共有や共通理解を大切にしていきたいと思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0	・気になることや園の出来事など話したいタイミングでできる環境だと思う。	いつでもお気軽にご相談いただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		お子様の気持ちに寄り添った支援を心掛けています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	2	0		保護者様同士の交流の場も設けていきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0	・送迎時にも相談ができ、その内容を支援の中に組み込んでくれている。	職員間での情報共有を大事にし、迅速に対応できるよう心掛けています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		お子様とはお楽しみの時間を通して、保護者様とは支援後のフィードバックの際にお話させていただく時間を設けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0		毎年ホームページで公表を行っておりまして、ご確認いただければと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	1	0	0	・SNSなどでも顔はスタンプ等で分からないようになっていて安心している。	個人情報の取り扱いについては研修を行っています。個人ファイル等は鍵付きの棚に入れて管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	1		マニュアル等については、契約の際にご説明をしています。防災訓練については毎月実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1	0	1		毎月実施しています。内容等のお知らせについて検討していきたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	1	0	0	・パーテーションが倒れないか心配です。	ご心配のお声をありがとうございます。万が一のことがないよう、倒れにくいタイプを選び、お子様が触れる場所にも注意して設置しています。転倒防止のため、重りの設置や配重の工夫を行っています。今後も気になる点があればすぐに対応いたしますので、お知らせください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1	0	1		契約の際にお伝えし、避難場所や避難経路や対応方法など記載した用紙をお渡ししています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0	・通所しぶりは時々あるが、先生方の顔を見ればすんなり行ってくれることがほとんどです。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もご期待に沿えるよう支援してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0		今後もご期待に沿えるよう支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		今後もご期待に沿えるよう支援してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		同時時間帯に3人までの利用とし、密回避とスペース確保をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人数を満たしている。 利用人数に合わせて職員配置を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内はバリアフリーになっており、視覚的に分かりやすいような掲示を心掛けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除・消毒など衛生対策を行っている。 また、利用児に合わせた支援室のレイアウトにし、机や椅子も変えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションで仕切り、個別での支援を行うことができる。	ワンフロアの為、パーティションで仕切っても、周りの音や声が聞こえてしまうことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングだけでなく、気が付いたときに都度伝えあっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝晩のミーティングや、月例ミーティングで意見を出す場を設け、出た意見については全職員で話し合い業務の改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人として、他地域や他校舎からの監査を行い、評価や提言などを行っている。	今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部・内部の研修に積極的に参加し、研修報告を行っている。	内部研修には全職員が参加している。外部研修についても全職員が参加できるよう調整を行っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、ホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子様の状況や保護者様の意向を踏まえ、担当者会議を行って作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当する指導員から利用児の状況を聞いて計画に盛り込み、担当者会議を行って計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		担当者会議で計画の内容を共有し、日々の支援は計画に沿った内容で行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに則り、相談支援事業所のサービス等利用計画、保護者の方や利用児の意向をうかがい、支援内容や目標を決めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間・月間計画を立て、担当者を決め、主担等を中心にミーティングを行い、イベントを開催している。	担当だけでなく、他の職員の意見も柔軟に取り入れていく。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		都度、成長に合わせて見直しを図っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じて小集団イベントも盛り込んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎晩ミーティングを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録をとり、継続課題や利用児の状況などを細かく共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児童発達支援管理責任者や主担当者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			体制を整えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		体制を整えていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて情報共有を行うなど連絡を取り合っている。	体制を整えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				現在できていないが、今後機会を設けられるようにしていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在できていないが、今後機会を設けられるようにしていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者が不安に思っていることなどに寄り添い、少しでも不安を軽減できるように、支援プログラムの内容を見直しながら取り組むようにしている。支援後にフィードバックを行ったり、連絡帳や個別にメール等でのやりとりを行い、共有理解できるよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今期は開催できていないが、希望があれば開催していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		変更などがあれば、随時個別に説明を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリングで意見や要望をうかがっている。必要に応じて面談等も行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		定期的な開催はできていない。要望に応じて検討、開催していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口を設置している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ、LINE、Instagram等で随時発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		研修を行っている。個人のファイルや個人情報については、鍵付きの棚に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に口頭やフェイスシートで確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	該当なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		都度、シートに記入し報告している。年度ごとにファイルにまとめて保管している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が研修に参加している。また、委員会を開き情報共有を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		委員会を設置し、契約時に保護者の方へ説明し、同意を得ている。	